

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は2025年度日本陸上競技連盟競技規則および本競技会申し合わせ事項により実施する。

2 総合案内所(TIC)

総合案内所を競技場正面入り口1階ロビーに置き、次の業務を行う。

- ①競技者、チーム関係者の受付
- ②各種問い合わせ、落し物等の取扱い
- ③抗議、上訴の受付
- ④プログラム販売(1冊 500円)
- ⑤リレーオーダー用紙・プログラム訂正用紙配布
- ⑥撮影許可の受付、許可証の配布

3 受付について

受付については、次のように行う。

- ①競技者の受付は3日間とも7:45から競技場正面入り口前で行う。
- ②受付の際には、プログラムを配布する
- ③プログラム記載ミスについては、プログラム訂正用紙(TICにて配布)を提出する。

4 練習について

- ①メイン競技場の練習時間は、1・3日目7:00～8:30、2日目7:00～8:40とする。
- ②投てき練習は、円盤投・ハンマー投・やり投についてはアクアウィング横の投てき練習場で行う。砲丸投は補助競技場で行う。投てき練習を行う際は、必ず付き添い者をつけて、安全を確認して行うこと。

5 競技場について

競技場(含補助競技場)は全天候舗装のためスパイクのピンはすべて9mm以下とする。ただし、走高跳・やり投は12mmを超えてはならない。

6 招集について

招集等については次のように行う。

- ①招集は、100mスタート付近倉庫内にて行う。招集完了時刻は、プログラム競技日程記載の通りとする。
- ②招集所への入場は、第1ゲートのみとする。
- ③招集所にて、腰ナンバー標識・レーンナンバー標識の配布を行う。
- ④種目を棄権する場合は、本人または代理人が競技者係に申し出ること。招集完了時刻に遅れた競技者は、その種目を棄権したものとみなす。
- ⑤他の種目と兼ねて同時に競技する者は、競技者係に必ず申し出ること。
- ⑥リレー種目に出場するチームは、オーダー用紙をラウンドごとに、あらかじめTICに取りに行くこと。各ラウンドともオーダー用紙に必要事項を記入し、各ラウンドの第1組招集完了時刻の1時間前までに競技者係に提出すること。一度提出したらその後の変更は認めない。
- ⑦各ラウンドともオーダー用紙提出後、傷病等により選手の出場ができない場合、医務員の判断でその選手のみ交代が認められる。ただし、編成(走順)の変更は認められない。その際は、競技者係まで申し出ること。
- ⑧混成競技の招集は、第1日及び第2日の最初の種目については、所定の時間に招集所で行う。2種目目以降は競技日程記載の時刻に混成控室にて招集を行う。また、最終種目(男子1500m・女子800m)は、混成競技係からスタート前の招集時に腰ナンバー標識とレーンナンバー標識を受け取ること。

7 競技について

- ①アスリートビブスは、胸・背各部に取り付ける。ただし、跳躍種目は胸・背のどちらかでよい。アスリートビブスのない者は出場できない。
- ②4×400mRのアンカーおよび800m以上の種目は腰ナンバー標識を、招集時に受け取る。さらに3000m以上の種目は胸と背につけるレーンナンバー標識を事前に競技者係より受け取ること。

- ③ シューズの靴底（ソール）の厚さについてはTR5.2の通りである。

参照 WA シューズリスト <https://certcheck.worldathletics.org/> (QR コード) →



- ④ 棒高跳のポール以外の用器具は競技場備えつけのものを使用する。競技場内へは練習用といえども個人の器具を持ち込んではいならない。
- ⑤ 走高跳はBゾーンに設置し、混成競技では、Aピット（ホームストレート側）・Bピット（バックストレート側）の2か所で行う。棒高跳はバックピットで行う。また、走幅跳・三段跳はメインピット（ホームストレート側）で行う。
- ⑥ 出場する選手、競技役員、補助員以外は競技場内へ入らないこと。また、出場する選手が競技場所を離れる場合は必ず競技役員に申し出ること。
- ⑦ リレー・走高跳のマーカ―は各自で用意をすること。それ以外のフィールド種目のマーカ―は主催者が用意する。終了後は各自で撤去すること。
- ⑧ リレー出場者は各チーム同一色・同デザインのユニフォームを着用するものとする。同一のチームと判別可能であれば、形状が異なるユニフォームを着用してもよい（例：セパレートとランニングシャツなど）
- ⑨ 混成競技は、控室を設ける。
- ⑩ 三段跳の踏切板は砂場より男子は11m、女子は9mの位置に設置する。
- ⑪ 競技場所からの退場は、別紙競技者動線の図の通りにする。
- ⑫ フィールド競技の試技を命ぜられてからは、以下の時間内に試技を開始しなければならない。

残っている 競技者数	単独種目			混成競技	
	走高跳	棒高跳	その他	走高跳	その他
4名以上	1分	1分	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分	1分30秒	1分
1人	3分	5分	—	2分	2分
連続試技	2分	3分	2分		

（単独種目のHJ・PVの連続試技の適用時間は、高さが変わった場合でも適用される）

- ⑬ 走高跳・棒高跳におけるバーの上げ方は、優勝が決まって最後の一人となるまでは以下のとおりとする。
ただし天候等の状況により練習の高さを含め、変更することもある。

【男子】 練習

走高跳 任意(3段階) 1.65 1.70 1.75 1.80 1.85 1.90 1.93 1.96 . . .

走高跳(混成A・B) 任意(3段階) 130～170 まで5cm ずつ、以降3cm ずつ

棒高跳 任意(3段階) 2.80 3.00 3.20 3.40 3.50 3.60 3.70 . . .

【女子】 練習

走高跳 任意(3段階) 1.40 1.45 1.50 1.55 1.58 1.61 . . .

走高跳(混成A・B) 任意(3段階) 1.10～1.50 まで5cm ずつ、以降3cm ずつ

棒高跳 任意(3段階) 2.00 2.20 2.40 2.50 2.60 2.70 . . .

・同記録の北信越大会への出場権決定は、ジャンプオフ方式で実施する。

・棒高跳の公式練習は競技開始40分前（厳守）から原則3段階で行うが、競技力の差を考え審判長判断で4段階とすることもある。

- ⑭ 競技結果・スタートリストについては、記録速報サイト（表紙QRコード）にて発表をする。なお、準決勝以上のスタートリストは、招集所にも掲示するのでよく確認すること。

8 助力について

コーチ等からの助言やビデオ等の視聴についてはコーチングエリアを設け、そのエリア内で行うこととする。ただし、メインスタンドからのビデオのつりさげや手渡し、競技者が視聴の為に当該競技エリアから離脱することは認められない。招集所や競技場内でこれらのことが明らかになった場合は、主催者で預かり競技終了後返却する。

9 抗議・上訴について

競技会進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、正式結果が発表されてから 30 分以内(同一日に次のラウンドがある場合は 15 分以内) にその競技者所属の顧問が TIC まで申し出る。その抗議に対する審判長の裁定に納得ができない場合は、ジュリーに上訴することができる。その手続きは「上訴申立書」を記入の上、委託金(1 万円)を添えて、TIC へ申し出ることとする。

10 学校対校について

- ① 男女別学校対校とし、男女別種目の合計点によって学校順位を決定する。(同点の場合は上位入賞者の多い学校を上位とする。)
- ② 入賞者の得点は 1 位 8 点、2 位 7 点、以下 6、5、4、3、2、1 点とする。

11 表彰について

- ① 各種目 8 位までの入賞者に賞状を授与する。8 位までの入賞者は競技終了後に表彰を行うので、競技役員の誘導に従い表彰控室まで来ること。尚、チームジャージ等で出席すること。
(ユニフォームでの参加は禁止とする。)
- ② 男女共、総合得点優勝校には優勝杯と賞状を、2・3 位の高校には賞状を授与する。

12 北信越大会への出場について

- ① 6 位 (6 人) までの入賞者は北信越大会への出場資格を得る。ただし、競歩は 5 位、混成競技・女子棒高跳・女子三段跳・女子ハンマー投は 4 位 (4 人) までの入賞者とする。
- ② トラック競技で同着 6 位の場合は、北信越大会への出場が認められる。
- ③ 北信越大会出場権取得者は表彰終了後、ただちに総務で申込個票の確認を行う。また、大会終了日まで本部へ必要書類とともに参加料 1 人 2000 円、プログラム代 800 円を添えて各校で申込をする。

13 応援・テント・横断幕の設営について

- ① 各校待機場所の確保は、顧問申し合わせ事項に従い実施する。競技場は 3 日間とも午前 7 : 00 開場。
- ② テントを設営する場合は、メインスタンドコンコースと芝生スタンド上部とする。
- ③ メインスタンド及び、フィールド競技進行中の付近での集団応援は行わない。
- ④ スタンドの横断幕設置については、最上段の手すりのみとする。

14 応急処置について

大会期間中の事故については、本競技場医務室にて応急処置のみ行う。その後の処置については、各学校の引率者の責任において対処すること。

15 その他

- ① 競技者の服装・身なりは、高体連の競技者の心得に準ずるものとし、高校生らしい態度で臨むこと。
- ② 貴重品は各自保管すること。ゴミ等は各自が責任をもって持ち帰ること。
- ③ ウォームアップ場には競技場と同様、個人の練習用器具を持ち込まないこと。ただし、投てき用具についてはこの規定の外とし、個人で用意すること。(原則投てき用具の貸し出しはしない)
- ④ 一般入場者の競技場内での撮影は、令和 7 年度長野県高校総体「撮影 (写真・動画等) 制限」に関するお願いの通り、TIC にて撮影許可の申請をし、撮影許可証を受け取る。撮影時は、撮影許可証が見えるように、携帯する。
- ⑤ 緊急時・災害等により、競技の中止、または再開不可能な場合の北信越大会進出者は、専門部で協議の上決定する。